

ソーシャルワークとは  
みんなが幸せに、楽しく生きる  
ことができるように社会に向き合い、  
困難な状況にある人に  
寄り添う仕事です。

誰もがその人らしく生きること、すべての人の暮らしの場が  
より豊かになることを願い、その実現に一生懸命になる。  
それがソーシャルワーカーと呼ばれている人たちです。



 公益社団法人 福岡県社会福祉士会  
〒812-0011  
福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目9番12号  
アイビーコートIIIビル5F  
TEL/092-483-2944 FAX/092-483-3037  
Email/info@facsw.or.jp

私たちは、社会福祉士の専門的スキルを研鑽し、資  
質と社会的地位向上に努めます。  
また、社会福祉の援助を必要とする人々の生活と  
権利の擁護及び社会福祉の増進に寄与します。



イメージキャラクター  
うるちゃん



福岡県医療ソーシャルワーカー協会  
〒810-0004  
福岡県福岡市中央区渡辺通1-12-11  
広瀬病院 地域医療連携室  
Email/soumu@msw-fukuoka.jp

福岡県医療ソーシャルワーカー協会は、  
1954年に発足した、病院や保健分野で働く  
ソーシャルワーカーの団体です。



 福岡県精神保健福祉士協会  
〒812-0011  
福岡県福岡市博多区博多駅前3-9-14  
フォロ博多502号室  
TEL/092-753-7002 FAX/092-406-0093

福岡県において精神保健福祉士の資質の向上を図る(研修事  
業)とともに、精神保健福祉士に関する普及啓発等の事業(情  
報発信、人材推薦派遣)を行い、精神障害者の社会的復権と福  
祉のための活動を進めることにより、国民の精神保健福祉の増  
進に寄与することを目的とする。



だれかのしあわせをホンキでかんがえているひとたち

よか、ひととバイ



福岡県社会福祉士会  
福岡県医療ソーシャルワーカー協会  
福岡県精神保健福祉士協会



# 誰かのために 生きるということ

ソーシャルワーカーは、  
知られざるヒーロー  
真の“**Unsung Hero**”だ！

サッカーの世界では、  
華麗なゴールやセーブで  
観客を魅了する選手がヒーローとして称賛される。  
しかし、陰でチームを支え、  
勝利に貢献する選手たちを“**Unsung Hero**”と呼ぶ。  
ソーシャルワーカーもまた、  
目立たないながらも社会を支えるヒーローである。  
相談者（クライアント）一人ひとりの人生に寄り添い、  
時に力強く、時に優しく支え、  
その人らしく生きるための道を共に歩む。  
ソーシャルワーカーの仕事は、  
華やかさや目立つことは決してない。  
しかし、その献身的な活動によって、  
数え切れないほど多くの人々が救われ、  
希望が灯されている。  
まさに、ソーシャルワーカーは、  
陰ながら社会を支える  
真のヒーローである。

浦川会長

高田会長

今村会長

## 福岡県社会福祉士会

会長 高田 裕矢

|     |         |                                            |
|-----|---------|--------------------------------------------|
| 沿革： | 1993.1  | 日本社会福祉士会設立                                 |
|     | 1993.11 | 日本社会福祉士会福岡県支部・福岡県社会福祉士会設立<br>発足時会員64名でスタート |
|     | 2004.4  | クローバープラザから博多事務所に移転                         |
|     | 2005.4  | ブロック制（4ブロック）の導入                            |
|     | 2008.5  | 公益社団法人への移行方針を機関決定                          |
|     | 2009.4  | 会員が1,000名の大台に到達                            |
|     | 2010.3  | 会報「ふくおか社会福祉士通信」が100号に到達                    |
|     | 2012.4  | 公益社団法人設立登記を行い公益社団法人化を達成                    |
|     | 2013.8  | 20周年記念式典開催                                 |
|     | 2023.11 | 30周年記念式典開催                                 |
|     | 2024.4  | 会員数1,869名                                  |

（2024年4月末時点）

## 福岡県医療ソーシャルワーカー 協会

会長 浦川 雅広

|     |         |                    |                        |
|-----|---------|--------------------|------------------------|
| 沿革： | 1954.11 | 日本医療社会事業家協会福岡県支部   | 発足                     |
|     | 1962.11 | 福岡県医療社会事業協会として組織、  | 名称を変更                  |
|     | 1966.4  | 飯塚、田川、久留米、山門保健所に医  | 療社会事業員が配置される           |
|     | 1977    | 初心者を対象とした医療社会事業基   | 礎講座を年8回開催              |
|     | 1995.9  | 第1回福岡県医療ソーシャルワーカー  | 初任者講習会開催               |
|     | 2004.11 | 第41回九州医療社会事業研修会、福  | 岡県医療社会事業協会創立50周年記念式典開催 |
|     | 2008    | 日本医療社会事業協会全国会長会、   | 全国医療ソーシャルワーカー協会へ加入     |
|     | 2009.5  | 福岡県医療ソーシャルワーカー協会に  | 名称変更                   |
|     | 2012.3  | 東日本大震災を受け、地域ごとに震災  | 被災者への支援窓口を設置           |
|     | 2014.4  | 「一般社団法人 福岡県医療ソーシャ  | ルワーカー協会」として法人格を取得      |
|     | 2014.9  | 創立60周年・一般社団法人移行記念  | 講演会、祝賀会開催              |
|     | 2019.10 | 「身寄りのない患者さんを支援するた  | めに ～よくある悩みへのヒント～」発行    |
|     | 2022.11 | 第58回九州医療ソーシャルワーカー研 | 修会ふくおか大会開催             |

（2024年6月時点）

## 福岡県精神保健福祉士協会

会長 今村 浩司

|     |           |                                            |
|-----|-----------|--------------------------------------------|
| 沿革： | 1995      | 日本精神医学ソーシャルワーカー協会福岡県支部設立<br>（当時30数名で発足）    |
|     | 2000      | 日本精神保健福祉士協会福岡県支部<br>（通称 福岡県精神保健福祉士協会）に名称変更 |
|     | 2005      | 福岡県精神保健福祉士協会に名称変更                          |
|     | 2011.7.31 | 福岡県精神保健福祉士協会 解散                            |
|     | 2011.8.1  | 一般社団法人福岡県精神保健福祉士協会 設立                      |

（2024年6月時点）

## よかひと 1

### Profile

**松澤 秀樹 (まつざわ ひでき) さん**  
所属：社会福祉士事務所まほろば



#### まずは、自己紹介をお願いします

春日市在住で「社会福祉士事務所まほろば」の松澤秀樹です。

#### 独立型社会福祉士について、詳しく教えてください

自称独立型と名乗るのは自由なのですが、日本社会福祉士会のHPにもアップされているオフィシャルな社会福祉士は約400人います。指定の研修を受講し毎年事業報告が必要、保険の加入義務が

あるなどの要件があり、提供するサービスの質が担保されています。

#### 主な仕事内容について教えてください

独立型なので比較的自由に仕事をデザインできます。スクールソーシャルワーカー等の学校臨床の仕事を中心に、講師やカウンセリングや社会福祉士会の活動に励んでいて、登録スーパーバイザーとしてスーパービジョンもやっています。

#### この仕事を選んだきっかけについて教えてください

ケアハウスの生活相談員など高齢者福祉の仕事をしていましたが、施設などの組織から離れ自分の裁量を持ったソーシャルワークができないかと、16年前に自宅の一室で個人事務所の看板を上げ、起業して3年くらいで軌道に乗りました。

大学時代からの20代は迷いの時期で、結婚して会社で仕事をしつつも自分はどんな仕事をしたら何者かになれる

のかと考えていました。営業系や金儲けの仕事には魅力を感じず、人と接することやしっかり話を聞くことなどは性に合っていると考えたので、30代から相談援助業務の修行に入りました。第7回の国試に合格しましたが、当時は「社会福祉士って何？」という感じで。ただ介護保険が入る前の老人福祉の現場は、マイナーだけど活気があり人間味に満ちた楽しい世界でした。「契約」でなく「措置」の頃の話です。

#### 仕事のやりがいについて教えてください

週に一回非常勤講師をしていて、時々実習の巡回指導にも行きます。自分の子どもより若い世代に「ソーシャルワークは

面白いよ」を伝えることに力を入れています。ワーカーはクライアントの権利擁護がその主たる役割です、独立型社会福祉士としては①自由であること②地域やコミュニティにコミット(貢献すること)③マイノリティの側にコミット(身を置く)ことを大切にしたいと思っています。

#### これからソーシャルワーカーを目指す方々へ一言お願いします。

ソーシャルワーカーとして一通りの仕事はしてきましたが、今やりがいを感じるのは個別の面談やケースワークです。子ども達や若い保護者と向き合ってしっかり話を聞くことが実践の肝だと感じています。自己回復力や自己治癒力はそれ

ぞれにあるので、課題と一緒に向き合うことがワーカーの役割になります。目の前に人間がいるのでレスポンスは直にもらえ、そのことに励まされエンパワメントされ元気になります。私たちはクライアントから信頼してもらえる存在でありたい。そのためには勉強勉強勉強、ケースからはいろんなことを教えてもらえます。研修やスーパービジョンで新しい知識や知恵を得ることも大事なことです。ワーカーをしていると自らの力の不足を感じ苦しいことも多いですが、ソーシャルワークはやはり楽しい。

## よかひと 2

### Profile

**鷹尾 滯 (たかお みお) さん**  
所属：医療法人 柳育会 八女リハビリ病院  
地域医療連携室 MSW



#### 仕事内容

主に退院支援に従事しています。入院前よりも心身の状態が落ちてしまい、元の生活に戻れない方、障がいと向き合っているプロセスの中で、葛藤を抱えながら今の自分を受容しようとする患者さん・家族と退院後の生活について一緒に考えています。

#### 今のしごとを選んだきっかけ

ただ、漠然と「困っている人に手を差し伸べられる人になりたい」と思い、社会福祉士という資格をよく知らないまま、大学へ入学し、国家試験の合格率の低さに、絶望したことを覚えています。(笑)それでも、MSWを希望したのは、「医療」の世界に「福祉」の視点を持った専門職がいる、ということに興味を持ったからです。病院というアウェイな環境の中で、いかに、専門性を発揮しながら患者さんの支援をできるか、多職種との連携を行う中で、意見を述べたり、患者さんの代弁者として、役割を果たせるのか、ということに興味を持ち、MSWを希望しました。

#### やりがい、大切にしていること

退院が決まった時の患者さんの嬉しそうな表情や元気になって退院される姿を見たり、地域の中で退院した後の患者さんの姿をみかけたり、生活状況を聞いたりすると、この仕事を選んでよかったな、と思います。「個性」「多様性」を求められる時代の中で、話しやすい雰囲気作りができていくか、自身の考え(主観)を押し付けていないか、患者さん主体で支援ができていくか、をいつも考えています。また、「こうしなさい」というレールを引くのではなく、1つ1つの課題を患者さんが解決できるように支援しながら、「患者さん」を1人の「生活者」として捉えながら支援することが大事だと考えています。

#### メッセージ

社会福祉士の職域は幅広く、その1つに病院があるんだな、と知って頂けると嬉しいです。「病院」という福祉職としては、特殊な職域で、日々自己研鑽しながら、他職種と協働して支援できることが楽しいですね。意外と身近に社会福祉士はいます。ぜひ、気軽に声かけてみてくださいね。

#### 仕事のある1日の流れ

8:30 出勤・朝礼・病棟内の申し送りに参加  
9:00 電話対応・カンファレンス出席  
10:00 入院・退院対応、書類作成  
12:00 休憩  
13:00 面談の準備  
13:30 面談や患者さん対応、来院された連携機関との情報交換、退院の対応  
16:00 リハビリカンファレンスに出席  
17:00 委員会への出席  
17:30 業務終了



## よかひと 3

### Profile

**勝野 耕太郎 (かつの こうたろう) さん**  
所属：社会福祉法人福岡県社会福祉協議会  
地域福祉部長



#### 仕事内容

地域・ボランティアセンター(市町村社協連携支援、ボランティア活動)、権利擁護センター(日常生活自立支援事業、福祉サービス苦情解決事業)、災害福祉支援センター(協働型災害ボランティアセンター・災害派遣福祉チームDWAT)、九州中国者支援センター

#### 今のしごとを選んだきっかけ

大学時代、春日市社会福祉協議会で職場体験・ボランティアをさせていただき、1990年代は、365日、1日2食の給食サービスや社協の2階〜4階に建設した老人下宿、湯布院と阿蘇に社協が別荘を取得し、高齢者のみならず、夏休み子どもたちも別荘でキャンプを行うなど、先駆的で魅力的な事業を開発し、実施されており、将来は社会福祉協議会で働きたいという気持ちが大きくなりました。

#### やりがい、大切にしていること

社協は、全国のネットワークを持ち、各々の地域で「自治会・町内会や地区協などの住民組織」「社会福祉施設等の福祉関係機関」「民生委員・児童委員」「福祉委員」「ボランティアやNPOなどの福祉

活動団体」「行政」などの参加を得て、社会福祉法人として独立した組織運営を行い、住民主体を理念に地域の特性に根差した活動を行っています。地域住民の生活に目を向け、制度では対応しづらい福祉問題を重視し、地域全体の問題としてとらえ、地域社会の中で解決策を考え、小地域福祉活動や在宅福祉サービスなどの実践を生み出してきました。その取り組みにおいて、「住民主体」の理念を貫き、地域住民が主人公となるような社会福祉のあり方を追求してきました。この「住民主体」の理念を、次の世代へ引き継いでいくことを大切にしています。

#### メッセージ

社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的とし、多様な社会福祉を目的とする事業の企画・実施や連絡調整を行う団体として、全国1825の市区町村社協、67の都道府県・指定都市社協、全社協で、約14万人が働く魅力溢れる職場です。仕事として、ボランティアとして、住民として、施設職員として社協と繋がっていただき、一緒に地域福祉を進めていきたいと思います。

#### 仕事のある1日の流れ

9:00 出勤  
メール確認、文書決裁、事務手続  
10:00 権利擁護関係オンライン会議  
12:00 休憩  
13:30 地域・ボランティアセンター所内業務打合せ  
15:00 権利擁護センター会議事前打合せ  
16:30 メール確認、文書決裁、事務手続  
17:20 終礼  
17:30 業務終了



## よかひと 4

### Profile

**高山 由磨 (たかやま ゆうま) さん**

所属：北九州市立病院機構  
北九州市立医療センター  
地域医療連携推進課 MSW



### 仕事内容

患者さんやそのご家族が病気によって生じる心理的、社会的、経済的不安などの相談を伺い、解決に向けての支援を行うことや安心して退院が迎えられるように院内外での多職種と連携しながらの退院支援等を主に行っています。

### 今のしごとを選んだきっかけ

私が今の仕事を選んだのは10年くらい前に入居施設やデイサービスなどがある高齢者分野で仕事をした際、より良い支援のために医療分野のことをもっと知る必要があると考えている中、ある先輩の社会福祉士に「病院には地域に帰りたいが利用できる制度などを知らないことで帰るのを諦めている方や病気になることによって様々な悩みを抱えている方がいる。だからこそ医療現場にソーシャルワークが必要なんだ。」という話を聞き、自身も医療現場でソーシャルワークを必要としている方の支援を行いたいと思ったことがきっかけでした。あとは単純にその先輩がカッコいいと思ったのもきっかけの一つだと思います。

### やりがい、大切にしていること

患者さんやご家族の笑顔が見られた時や感謝の言葉を頂けた時にやりがいを感じます。お手紙をいただくこともあるので時々読み返しては力をもらっています。また研修会等への参加や同職種、他職種の方との交流なども行うことで今以上に頑張ろうと思えます。  
大切にしていることは倫理等の基本と実践の振り返りを行うということです。例えば介護サービスを検討する場合、何が必要か様々な情報から導き出していくことを専門職として行っていきますがそれ以前にサービスを入れることによって本来ある力を奪っていないか、専門職ニーズを押し付けていないか、権利は守られているのかなどを考えていくことがまずは重要だと思います。それを実践で行うには知識や技術の向上も必要ですがまずは倫理等の基礎が特に必要だと考えているためこの振り返り作業を大切にしています。

### メッセージ

病気になってもその人がその人らしく生き抜けるようにそっと寄り添い、人生の一部を紡ぐお手伝いさせていただき、それが医療ソーシャルワーカーです。決して目立つ仕事ではありませんが今後も必要な

専門職であり、共感してくれる仲間も協力してくれる多職種も大勢います。これを機に少しずつ知ってもらえると嬉しいです。

### 仕事のある1日の流れ

- 8:20 出勤／着替え、デスク周辺の清掃・消毒、朝礼
- 9:00 入院患者さんのカルテ情報を確認
- 9:45 退院患者さんのお見送り
- 10:00 担当病棟の看護師長とミーティング
- 10:30 患者さん・ご家族面接、電話相談対応、外部機関との連絡
- 12:30 休憩
- 13:30 院内カンファレンス
- 14:30 退院前カンファレンス
- 15:30 委員会出席
- 16:00 カルテ記録、書類作成
- 17:05 業務終了



## よかひと 5

### Profile

**鶴久 裕貴 (つるひさ ゆうき) さん**

所属：久留米大学病院 精神神経診療科  
精神保健福祉士



### 仕事内容

精神科病棟に入院している方への退院に向けた支援を行っています。患者さんやそのご家族の退院への思いや不安に寄り添い、これまで利用されていた関係機関の方々と連携し、安心して安定した生活、そして本人が希望する生活に繋がるように支援しています。入院を機に新たな社会資源を導入し、本人らしい生活が営めるようにサポート体制を構築しています。また、クライシスプランを作成し、退院後にご自身で取り組むことができるよう、集団心理教育も行っています。

### 今のしごとを選んだきっかけ

まず、人と関わる仕事に就きたかったこと、大学進学の際に就職氷河期で福祉職については就職率が高く、母が福祉職に就いていた影響もあり、社会福祉士の資格を目標に大学に入学しました。その後、精神保健福祉士という資格の存在を知り、精神疾患を抱える方の支援に興味を持ち、精神科病院へ入職しました。

### やりがい、大切にしていること

患者さんの支援に携わる中で、生活者であるということを忘れないように関わることが心がけています。さまざまな生活歴や

背景があって今日に至っていることを理解することで、本人への寄り添い方も変わってきます。その人が何を思い、何を考えて、その言葉を発しているのか、その上でどのように言葉をかけ、支援できるか、どう寄り添うかということを大切にしています。

### 今後の目標や夢

私が大学生の頃に比べ、精神保健福祉士が活躍できる場所は広がっています。しかし一方で、入学者数はかなり減少していると感じます。現代社会においてメンタルヘルスに関する問題は多くあります。この仕事に少しでも興味を持ち、志望してもらえるように、普及活動や精神保健福祉士の質の向上に協会活動を通して取り組んでいきたいと考えています。また、精神保健福祉士として成年後見に関する活動も増えており、地域でも専門職としての役割を認知してもらうよう努めていきたいです。

### メッセージ

専門資格を取得しても、福祉職ということで給与面などを考慮し、一般職に就く方や医療機関ではなく地域で働く方も多いと聞きます。前述したように、年々働くフィールドは多岐にわたっており、最近では起業する人や、主たる仕事以外にもこのころの健康相談統一ダイヤルや『成年後

見』などに関する役割やニーズも増えていきます。専門資格を持つことで、定年後も社会で役割を持つことができます。長く専門職として働くことを考えると、医療機関でしっかりと精神保健福祉士として患者さんと関わり、さまざまな疾患を学ぶことが重要です。地域や社会において広く活躍できる人材が増えていくことを願っています。

### 仕事のある1日の流れ

- 8:30 出勤／メール・カルテ確認
- 9:00 書類作成・事務処理
- 10:00 支援者会議
- 11:00 関係機関と連絡調整
- 12:00 休憩
- 13:00 患者面談
- 13:30 集団心理教育
- 14:30 振り返り
- 15:00 家族面談
- 16:00 記録



## よかひと 6

### Profile

**嶋村 美由紀 (しまむら みゆき) さん**

所属：北九州市教育委員会生徒指導課  
SSW西部統括



### 仕事内容

福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーとして北九州市教育委員会所管の学校等に所属する児童生徒等が抱えるいじめや不登校、児童虐待などの諸課題について、環境への働きかけや関係機関との調整を行うなどの支援を行います。

### 今のしごとを選んだきっかけ

福祉学科を卒業後、精神科病院において患者さんの相談対応や生活支援をす

る仕事に就きました。その次の職場では、特性はあるが適切な療育や支援を受けないままに成長している方や、幼少期に虐待を受け精神の不調に苦しんでいる方など、人生の早い時期に支援者に出会っていれば違う人生を歩むことができたのではないかと思う方々との出会いがありました。スクールソーシャルワーカーは、学校生活の中で様々な困難を抱える児童生徒や保護者の相談を受け、必要な制度やサービスをつないだり、療育や家庭支援

をしりする仕事です。精神保健福祉士の専門性を大いに発揮できると思い選択しました。

### やりがい、大切にしていること

チーム学校の一員としてのスクールソーシャルワーカーは、専門職として必要とされる存在でありたいと思っていますし、日々の業務のなかでやりがいを感じ充実した毎日を送っています。スクールソーシャルワーカー(精神保健福祉士)は学校生活を送る上でつらさを

感じている子どもたちや、子育てに不安を抱えている保護者の方たちと出会います。かわわりを持つことで『話してみようか』『つらいって言ってもいいんだ(子どもも大人も)』と少しでも思ってくれたらいい』『困ったときにこの経験が、誰かにSOSを伝えることができる糧になったらいい』を目標に支援をしています。

### メッセージ

学生の間は何がしたいのか、何ができるのか、したい仕事に向いているのか悩めますよね。精神保健福祉士は、福祉の専門家であるけれど医療、保健、教育、司法などの知識と技術をフルに活用して人にかかわる仕事です。皆さんと現場でお会いすることを楽しみにしています。

### 仕事のある1日の流れ

- 8:30 出勤
- 9:30 学校訪問(新規派遣依頼)
- 11:00 学校訪問(様子観察・児童面談)
- 12:00 休憩
- 13:00 関係機関訪問
- 14:30 電話対応、記録等
- 16:00 ケース会議(学校・関係機関・保護者)
- 17:15 業務終了

